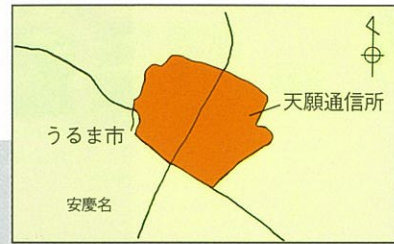


天願通信所（うるま市）

- 1 基地名：天願通信所
- 2 所在地：うるま市具志川字安慶名・字天願・字赤野・字田場
- 3 返還面積：974千㎡



4 主な沿革

- ・昭和20年:軍事占領の継続として使用開始
- ・昭和36年:戦略通信コマンド沖繩通信群が配備
- ・昭和47年:本土復帰に際し、天願戦略通信所が天願通信所として提供
- ・昭和48年:946千㎡が返還
- ・昭和58年:28千㎡が返還され、全部返還となる

5 接收の経緯

この地域は、旧具志川市の中心地に位置し、戦前は、一部に農家が点在する程度で畑が大半を占める優良農地であった。

昭和20年米軍の沖縄占領と同時に、米陸軍が物資集積場所として使用開始し、その後昭和36年に通信隊が配置された。昭和48年頃まで戦略通信コマンド沖繩通信群の長距離大隊の通信基地として機能し、ベトナム、フィリピン、グアムなどの極東地域や米国との長距離通信を行うほか、トリー通信施設との連携の下に使用されていた。

6 返還の経緯

昭和48年9月15日、米軍の通信機構の再編成の一環として、施設中央部に通信用鉄塔(1基)とその附属施設を残し、大部分の946千㎡が返還された。

昭和58年6月30日、残り28千㎡が返還され、全部返還となった。

7 現在の土地利用状況

返還跡地は、天願地区土地区画整理事業が実施され、市役所をはじめとする公共施設や学校、住宅地、郊外型店舗などが建設され、「みどり町」としてうるま市内に新しい町が形成されている。

- ※天願地区土地区画整理事業:施行年度(昭和54年～平成3年)
- 区域決定[告示日](昭和55年1月21日)
- 換地処分[公告日](平成3年1月25日)
- 事業面積(97.5ha)
- 総事業費(4,812百万円)
- 施行者(組合)



うるま市庁舎 平成21年3月

返還後

商業店舗等 平成21年3月



返還前



昭和47年5月(写真提供:沖縄タイムス)

返還後



天願地区土地区画整理事業が実施され、地区内には庁舎等の公共施設、住宅地、商業店舗等が建設
平成17年5月(写真提供:沖縄タイムス)